

## 第 66 回定期総会 柘屋敬悟衆議院総務委員長祝辞

本日、ここに全国町村議会議長会定期総会が開催されるに当たりまして、衆議院総務委員会を代表して、一言、御挨拶を申し上げます。

はじめに、町村議会運営の重責を担われ、地方自治の発展と住民福祉の向上のため、日夜、献身的な御努力を重ねておられます皆様方に対しまして、深く敬意を表する次第であります。

また、本日、自治功労者並びに優良な町村議会として表彰の栄誉を受けられました皆様方に、心からお慶びを申し上げますとともに、多年にわたる御貢献に敬意を表するものであります。

さて、我が国は、平成 20 年をピークとして人口減少局面に突入しており、このまま人口減少が続いた場合には、経済規模の縮小、社会保障負担の増加、生活水準の低下など、地域経済社会に甚大な影響を及ぼすこととなります。まさに人口オーナスの問題に真正面から取り組まなければならない。待ったなしの時を迎えている訳であります。このため、人口減少克服・地方創生という構造的な課題に正面から取り組むことが求められています。

このような中で決定された平成 27 年度地方財政対策においては、今、二之湯総務副大臣からお話があったとおり、1 兆円の地方創生枠を確保することができた訳であります。これを受け、今後、平成 27 年度の「地方交付税法等改正案」が、「地方税法等改正案」とともに、今国会に提出される予定となっております。

また、これに先立ち今国会に提出された補正予算関連の「地方交付税法改正案」は、当委員会の審査を経て、補正予算とともに 2 月 3 日に成立いたしました。

このほか、今国会においては、地方公共団体からの提案を踏まえ、地方公共団体への事務・権限の移譲、義務付け・枠付けの見直し、農地の問題等もございしますが、皆様方からの提案を受け、地方分権改革に係る「第五次整備法案」の提出も予定されております。

私は委員長として、各委員、各会派の協力を得ながら、総務委員会関係の法案の真摯かつ速やかな審議に向けて努力するとともに、地域のリーダーである皆様方が、ますます議会における議論の充実に努められ、地域の民主主義を豊かなものにしていただける

よう、その環境の整備になお一層努めてまいる所存であります。

終わりに、皆様方の御健勝と益々の御活躍を心からお祈り申し上げまして、私の祝辞といたします。

平成 27 年 2 月 6 日

衆議院総務委員長 榎 屋 敬 悟